

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2021年
秋号
vol.30

INDEX

- ◆名古屋市総合総合リハビリテーション事業団理事長就任のごあいさつ
- ◆なごや高次脳機能障害支援センター長あいさつ
- ◆東京2020パラリンピック聖火フェスティバル in 名古屋
- ◆募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション



去る6月21日に名古屋市総合リハビリテーションセンター(以下リハセンという)にて開催された理事会で、長年にわたり名古屋市総合リハビリテーション事業団(以下当事業団という)を理事長としてけん引してこられた松井宣夫先生が、理事長から相談役にご勇退され、後任として不肖私、山田和雄が理事長を受け継ぐことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

当事業団は、永年わが国の障害者リハビリテーション事業の本質を担う取り組みを行い、これまでに多くの成果を上げてきました。

一例として、脳卒中や脳外傷などの脳損傷後に発生する高次脳機能障害者の社会復帰についてみてみます。

これまで多くの問題を抱えていた高次脳機能障害のある方の社会復帰について「名古屋モデル」とでもいうべき仕組みを作り、過去10年以上にわたってその普及に努力し、多くの障害のある方の社会復帰に貢献してきました。この名古屋モデルはその後体系化され、わが国の標準モデルの一つとなり、全国に広がっております。

このようなシステム運営の苦労は、外から見ているだけではなかなか分からないことが多いのですが、実際にその場に身を置いてみると、なるほどという出来事の連続でした。

また、従来、高次脳機能障害のある方の支援は、高次脳機能障害支援課を中心に行ってきましたが、今年の7月からは「なごや高次脳機能障害支援センター」をリハセン内に立ち上げ、関連部門協働を強化し支援のさらなる拡充を図ります。次ページ以降に、このセンターの仕組みが詳しく述べられていますのでぜひご覧ください。

事業団理事長就任のごあいさつ



リハセンでは、脳卒中や脳外傷などの後遺症のある方に対する機能回復訓練や社会復帰を支援し、障害のある方が住み慣れた地域で継続して生活することを支援するため、多くの職員が働いています。このような訓練・支援は地味で、なかなか外部からは分かりにくい面もありますが、当事業団で働く職員のほぼ半数が、医療・福祉が総合的・一体的に、地域との連携の中、直接的・間接的に支援に携わっています。

先ごろ閉幕した東京2020パラリンピックでは、車いすラグビー、車いすバスケットボール、車いすテニス、ゴールボール、ボッチャ、ブラインドサッカーなど、障害者スポーツ特有の競技が話題になりました。このうち、車いすバスケットボールについては、当事業団職員が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ出向し、競技運営の中心メンバーとして活動しました。

またこれと関連して、東京2020パラリンピックの採火は全国47都道府県の各所で行われ、これが東京で一つになって東京2020パラリンピックの聖火となりましたが、名古屋市障害者スポーツセンターで名古屋市の採火式が行われ、この時の様子も次ページ以降に述べられていますので、ぜひご覧ください。

このように当事業団は、この地方の障害者リハビリテーション分野の中心的な存在であり、この事業団を引っ張っていくことは、誠に名誉な、有意義なことと感じております。

このような環境の中で、相談部門・医療部門・福祉部門・地域支援部門で利用者さんの直接・間接支援に携わっている職員、裏方で事業運営を支えている事務職員、事業団を運営している役職員など後方支援も含め、やる気のある方々ばかりです。ぜひこのような多職種の方々の力を一つにして、当事業団をわが国でも最も活動的で誰からも魅力のある社会福祉法人にしていきたいと思っております。今後も皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

理事長
山田 和雄

なごや高次脳機能障害 支援センター



なごや高次脳機能障害支援センター長あいさつ

令和3年7月1日になごや高次脳機能障害支援センターを開設いたしましたのでごあいさつ申し上げます。

名古屋市総合リハビリテーションセンターは、平成13年に厚生労働省高次脳機能障害支援モデル事業を受託後、名古屋市と愛知県の高次脳機能障害支援事業を受託して、高次脳機能障害支援課として活動を行ってまいりました(図1、2参照)。このたび、なごや高次脳機能障害支援センターを開設し、これまでの活動に加え新規事業も開始してこれまで以上に積極的に支援を推し進めていきます。

具体的には、高次脳機能障害の専門相談、人材育成ネットワーク、普及啓発をさらに拡充して行い、新規事業として、高次脳機能障害



開設記念講演会を開催しました

センター開設にあたり セラピストより

自動車運転評価・相談(作業療法士)

安全な自動車運転には「認知・予測・判断・操作」が求められます。自動車は便利な移動手段である一方で痛ましい事故も起こりうるものであり、社会的な責任も伴います。そのため高次脳機能障害によって安全な運転に支障が生じないか慎重に判断することが大切です。



当センターでは運転に必要な能力を神経心理学的検査、シミュレーター検査によって包括的に評価を行います。また、自動車運転に不安を感じられている高次脳機能障害のある方やご家族へは専門相談支援を行い、道路交通法に従った必要な手続きについてご説明します。さらに、他機関や専門職の方向けに研修を行うことで支援機関の育成に努めます。

図1:R2個別相談(内容別)

のべ2,093件

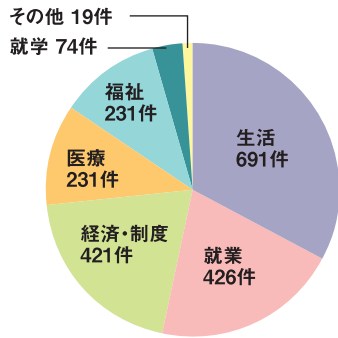
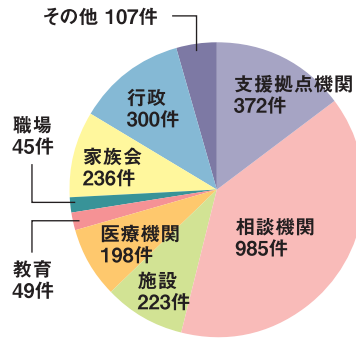


図2:R2機関連携

のべ2,515件



のある方の自動車運転相談やこれまで対象としてこなかった失語症のある方や障害児の就学支援にも取り組んでいきたいと考えています。

高次脳機能障害のある方が、より暮らしやすく働きやすい社会に少しでも近づけますように、なごや高次脳機能障害支援センターは活動を行ってまいります。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なごや高次脳機能障害支援センター長 稲垣 亜紀

失語症のある方の支援(言語聴覚士)

失語症になると、言葉を「聞く・読む・話す・書く」ことが困難になり、必要な情報が得られず、社会参加や意思の表明が十分できないことがあります。このような失語症のある方が、意思疎通支援を受けながら、公的なサービス、社会保障制度、地域のさまざまな資源の利用を選択・決定し有効に活用できるよう、失語症のある方や支援専門職、ご家族、その他の支援者の方へ、専門相談支援を行います。また、地域の支援者の方や支援機関の育成を行います。



高次脳機能障害児の就学支援(公認心理師)

事故や病気で脳に損傷を受け、その後遺症で高次脳機能障害がある小中学生に、評価や訓練、カウンセリングを行ったり、学校訪問により情報共有をしたりして、児童が安心して学校生活を送れるよう支援します。

また、大人の高次脳機能障害は一旦発達した機能が低下した形であるのに対し、児童はまだ脳が発達途中であること、大人は会社などが社会復帰の場であるのに対し、児童は学校であること、また支援体制が進級や進学によって年度ごとに変わることなどから、大人とは異なる支援が必要となります。

保護者や学校関係者などの児童をとりまく支援者向けに研修を行い、児童特有の問題に対応できるよう支援するとともに、その後の安定した生活や就労につなげていきます。



東京2020パラリンピック

「東京2020パラリンピック聖火フェスティバルin名古屋」は「名古屋の火」を採火するイベントです。

東京2020パラリンピックの聖火は、全国47都道府県で採火された炎とパラリンピック発祥の地であるイギリスのストーク・マンデビルで採火された炎が東京で集火され、誕生します。その後、東京2020パラリンピック開会式に向けて、聖火リレーが実施されます。

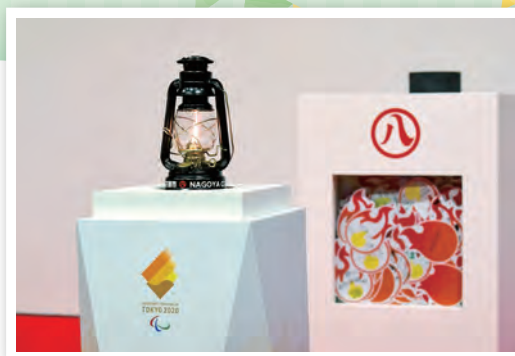
東京2020パラリンピック聖火リレーのコンセプトは「Share Your Light / あなたは、きっと、誰かの光だ。」であり「新たな出会いから生まれる光を集めて、みんなが調和し、活かしあう社会を照らし出そう。」という思いを端的に表し、パラリンピック聖火リレーを通じて、多様な、そして社会の中で誰かの希望や支えとなっている光(人)が集まり、出会うことで、共生社会を照らす力としようという思いが表現されています。

それを受けた名古屋のコンセプトは「名古屋市民の想いを伝え、“名古屋らしい” “名古屋しかできない” 「名古屋の火」を採火する!!」とし、



熱田神宮で行われた
採火の様子





聖火フェスティバル in 名古屋

名古屋の歴史にみんなの想いをつなげて「名古屋の火」を誕生させました。

具体的には名古屋の歴史のはじまりである三種の神器のひとつ、日本武尊（やまとたけるのみこと）の草薙神剣（くさなぎのつるぎ）をご神体とする熱田神宮のくさなぎ広場にて、熱田神宮ボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたちによって起こされた火と、火をかたどったメッセージカードに込められた市民の想いを合わせ、「名古屋の火」を採火しました。

県内49市町村が独自の手法で採火した火を愛知県庁にてひとつの炎にし、愛知県の炎は誕生しました。



名古屋の火

採火式
ポスター



事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶ 現在募集中

正規職員

看護師、作業療法士

嘱託職員

嘱託栄養士、調理補助、
嘱託作業療法士



随時
募集中
です！

職場見学
大歓迎

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

お問い合わせ
はこちら

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>

事業団公式HP▶



事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式

▶ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
 - ・福祉スポーツセンター
 - ・障害者就労支援センター めいりは
 - ・なごや高次脳機能障害支援センター
- 〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743